

# 令和 6年度予算見積調書

課室名：観光課  
 担当名：総務・物産・民泊担当  
 内線：3950

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P57	伝統工芸を活用した観光誘客			一般会計	商工費	観光費	観光費	彩の国観光振興推進費		
事業期間	令和5年度～ 令和7年度	根拠 法令	なし			針路 分野施策	08 0802	支え合い魅力あふれる地域社会の構築 地域の魅力創造発信と観光振興	SDGsゴール 8 SDGsターゲット 8-9	
1 事業概要 本県ならではの魅力・観光資源の一つである伝統的 手工芸品の産地・事業者を、民間企業等との連携支援により 活性化させ、観光誘客・観光消費額の増加、ブランド 力の向上につなげる。  ア 未来につなぐ伝統工芸の魅力アップ支援 639千円 イ 新商品や伝統的手工芸品のPR 4,061千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 未来につなぐ伝統工芸の魅力アップ支援 639千円 意欲ある産地組合・企業を対象に実践的な勉強会を開催し、参加者を中心に、商品開発・販路拡大等、関 連する企業とのマッチングを支援する。  イ 新商品や伝統的手工芸品のPR 4,061千円 伝統的手工芸品の魅力をPRしプレミアム感を高め、需要開拓や誘客につなげるため、全国・関東ブロック の工芸品展への出展支援を行う。また、県伝統工芸士の認定等を行う。  (2) 事業計画 ア 産地組合・企業を対象とした実践的な勉強会の開催 イ 全国や関東ブロックの工芸品展への出展支援、県伝統工芸士の認定 伝統工芸モデル工場の指定、技術継承者育成事業への補助  (3) 事業効果 ア 伝統的手工芸品が観光資源となり、魅力的な作品や工房見学などを目的に観光客が増加する。 イ 伝統的手工芸品が将来性のある魅力的な産業として継続し、新たな商品・魅力が創出される。 【活動指標(アウトプット)】勉強会の開催1回、全国・関東ブロックの工芸品展への出展2回等 【成果指標(アウトカム)】観光入込客の数、外国人観光客数、観光消費額の増加						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
決定額	4,700							4,700	△2,310	
前年額	7,010							7,010		

## 事業内訳書

事業名	伝統工芸を活用した観光誘客		
単位事業名	未来につなぐ伝統工芸の魅力アップ支援	予算額	639千円

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	639	△2,311	
合計	639	△2,311	

### ○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	300	△1,050	勉強会講師謝金
旅費	36	△264	勉強会旅費
需用費	53	△517	消耗品、チラシ印刷代
役務費	150	△400	チラシ郵送料
使用料及び賃借料	100	△80	会議室使用料
合計	639	△2,311	

単位事業名	新商品や伝統的手工芸品のPR	予算額	4,061千円
-------	----------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	4,061	1	
合計	4,061	1	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	83	0	伝統工芸士選考委員会委員謝金
旅費	42	0	伝統的工芸品展視察、モデル工場現地調査
需用費	438	1	消耗品、伝統工芸士認定証等印刷代
役務費	70	0	伝統工芸士認定証等筆耕料
使用料及び賃借料	22	0	会議室使用料
負担金、補助及び交付金	3,406	0	産地組合が実施する技術継承者育成事業への補助金等
合計	4,061	1	